

2011年1月22日

関係各位

放射線療法部会

第4回放射線療法部会・会議

日時：2011年1月22日 17:30~18:00

場所：大阪アカデミア（大阪市住之江区南港北1-3-5） MA-6（6階）

出席者：石川剛司、河津幸雄、長田雅昭、中山智宏、永吉貴子、夏堀雅宏、藤田道郎、福山泰広、保坂創史、圓尾拓也（五十音順、敬称略）

欠席者：伊藤夏樹、入江充洋、廉澤剛、金久保佳代、芝裕輝、菅井匡人、高橋朋子、野村耕二、坂大智洋、細谷謙次、南毅生、三宅龍二、森麻江、和田成一（五十音順、敬称略）

1. 報告事項

- 1) 新メンバーの紹介：石川剛司先生（麻布大学附属動物病院）に参加いただくことになりました。
- 2) 放射線症例検討会の実施：第4回学会（2011年1月23日予定）
- 3) 放射線治療講演会の実施：第5回学会（2011年7月予定）

2. 審議事項

- 1) KORTUC療法の適用における各大学・治療施設の参画について

夏堀先生

動物で拡げていき、人の方に普及していければいいのではという事で、テクノロジー四国の方から許可を得て、1施設20症例まで無料で実施可能となる。エビデンスの蓄積のために、各施設に協力してもらいたい。夏堀先生に使用したい腫瘍の種類を提案してもらい、了解が得られれば実施していく。

参加者

試したい疾患はどのようなものがいいか？

夏堀先生

鼻腔腫瘍、猫の扁平上皮癌はどうか。
20症例までは無料。20例全て同じ疾患でなくていい。
20症例終わった後に1症例いくらにするかは個別の交渉で行う。

夏堀先生

新しいエビデンスを作るために、犬の鼻腔腫瘍、猫の扁平上皮癌で適応症例があれば、やっていただきたい。

結果はJARMecの夏堀先生と菅井先生、および高知大学へエクセルデータで送る。高知大学の窓口は塩崎さんという人(shiozaki@s-tlo.co.jp)になります。もしKORTUC療法を始めたら連絡してください。

結論：KORTUC療法に関しては、各施設が個別に契約して実施していくこと。（日本獣医がん学会は関わらない。）

- 2) 各放射線治療施設の年度ごとの照射例数などの集計項目について

「先日の施設ごとの治療データですが、できればフォーマットを統一して入力するようにすればデータ解析できるのではないか」という意見がありました。

人員や照射日などについてはもう書かなくてよい。

藤田先生

他の治療法（放射線増感剤、ピロキシカム）の併用の有無、使用の時期、どういう目的で使ったかなどを入れた方がよいのでは。

長田先生

犬・猫、腫瘍の種類、WHO ステージ、発生部位など加えたら。メールでまた詳しく考える。

結論：1回各大学でまとめているフォーマットを送ってもらい、良さそうなものもとに作成し、決まったらホームページにアップしてそれぞれダウンロードしてもらおう。

3) その他

(1) 認定医教科書での放射線療法の取りまとめ役

認定医委員会より、放射線療法のマニュアルの作成を依頼されている。認定医講習向けの本の作成。そのまとめ役の適任者を決めたい。

中山先生にお願いすることとした。

以上。